

池田高校 SSH 卒業生アンケート

高校29期生 Nさん

(聞き手 社会科 小田)

1 まず、あなたは今どのようなお仕事(生活)をされていますか。仕事の場合は、よろしければお立場もお教えてください。

私立大学の法学部生

2 高校時代とはどういう研究をされましたか。

水中ドローンを用いた、海底のマイクロプラスチックの採集に関する研究を行っていた。

3 研究活動の上で、最も印象深かったことは何ですか。

水中ドローンの開発が印象に残っている。3人という少人数での研究だったが、開発や組み立てといった技術的な部分中心に担うメンバーと、学会や発表会でのプレゼンをメインに担うメンバーと、各自が役割を持って活動に取り組んでいた。失敗ばかりだったが、その分、深海部分まで到達したときは言葉では言い表せないほどの感動があった。

4 そこで学んだことはどういうことだと考えますか。

人前でプレゼンするうえで、分かりやすい説明の仕方と、見やすいスライドを作るスキルが身についた。高校時代、発表会前は何度も発表練習があり、話し方やスライド内容について、理事長先生からたくさん指摘が入って、何度も作り直したのを覚えている。

5 SSHの学びにより、科学的な感性や好奇心、思考力は伸びたと思えますか。

思う。水中ドローンが故障したとき、配線の問題なのか、水が内部に侵入しているせいなのか、あらゆる角度から原因を探っていた。おかげで、物事を一つの方向からだけ見るのではなく、多角的に考えてみることを、今でも意識している。また、グラフの変化にも敏感になることができたと思う。このようなスキルは、文系学部であってもとても重要だと今痛感している。

6 プレゼンテーションやわかりやすく話す力や表現力は付いたと思いますか。

思う。大学生になって、ゼミなどで発表することも多いが、自分のスライドの見やすさを褒められることも多い。プレゼンにおける見やすさ、分かりやすさは自分にとっては当たり前を意識していたことだが、周囲の人はそうでもないことが分かって、改めてSSHをやっていてよかったと感じた。

7 高校時代が普通の教科学習だけで終わったとしたら、どう違ったと思いますか。

普通に学校に行って、授業を受けて、部活動もせずに家に帰って、という毎日を過ごして、高校3年生になったら受験勉強を始める、といったような刺激のない高校生活を送っていたと思う。水中ドローンの組み立てにみんなで没頭したり、発表会前に夜遅くまでスライド作りをしたり、とても忙しかったが、自分にとって高校生活を充実させてくれる経験だったと思う。

8 SSHの学びは、あなたの理系選択に影響しましたか。また、研究したことで学習意欲は高くなったと思いますか。

自分は文系を選択したが、SSHでの研究活動を通して、研究職に興味を持つようになり、学習意欲は高まったと思う。

9 現在どのような生活を送っていますか。研究(仕事)はどんな様子ですか。

今の自分に役立っているところはどんなところと考えますか。

学生の全員がゼミに参加するわけではないが、関心のあるゼミには複数所属している。特に冷戦史に興味を持っており、研究職も視野に入れながら、将来について考えている。

10 今後の池田高校のSSHについてどう考えますか。期待することなどを教えてほしい。

池田高校は、先生たちがいつも親身になってくれた。自分たちが活躍できたのも、先生たちのおかげだと思う。これからも、良いアイデアを持っている子や、すごい才能を持っている子がいたら、是非SSHを通じて伸ばしてあげてほしいし、そんな子たちを輝かせてあげてほしい。また、全国大会や国際大会などでの成果は、卒業生としても誇らしいことなので、もっとアピールして行ってほしい。